

2026 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社総医研ホールディングス
代表者名 代表取締役 角田 真佐夫
(コード番号 2385 東証グロース)
(URL. <https://www.soiken.com/>)
問合せ先 取締役財務部長 奥野 貴人
(TEL. 06-6871-8888)

中国大手製薬企業「四川科倫薬業グループ」と新規機能性素材の 共同研究枠組み協定締結に関するお知らせ

～ 日本でのエビデンス構築を起点に、中国市場への越境 EC 展開までを見据えた
日中双方向の事業展開を推進 ～

株式会社総医研ホールディングス（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：角田 真佐夫、以下「当社」）は、中国大手製薬企業である四川科倫薬業グループのグループ会社、科倫永年大健康産業股份有限公司（以下「科倫永年」）及び、日中間の連携を支援する思尼特生物科技有限公司（以下「思尼特」）との間で、新規機能性素材の研究開発、機能性評価、製品化及び事業化に向けた共同研究枠組み協定（以下「本協定」）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本協定を通じ、四川科倫薬業グループが有する研究開発・製造基盤と、当社グループが日本国内で培ってきた臨床研究・機能性評価のノウハウを活かし、思尼特による日中間のコミュニケーション及びコーディネートのもと、新規機能性素材の事業化を推進するとともに、中国市場への越境 EC を含む事業展開を目指してまいります。

記

1. 共同研究枠組み協定締結の背景

当社グループは、これまで抗疲労研究をはじめ、科学的エビデンスに基づく機能性素材の研究開発、臨床研究、商品開発及び事業化に取り組んでまいりました。

今回、共同研究の対象となる新規機能性素材（以下「本素材」）は、健康食品をはじめとするヘルスケア分野における新たな素材として、今後幅広い活用が期待されています。

本素材の日本市場への展開にあたり、四川科倫薬業グループが有する研究開発・製造基盤と、当社グループが有する日本国内での臨床研究、機能性評価及び科学的エビデンス構築のノウハウを活かし、思尼特による日中間のコミュニケーション及びコーディネートのもと、研究開発から製品化・事業化までを推進してまいります。

2. 四川科倫薬業グループ及び科倫永年について

四川科倫薬業グループは、中国を代表する大手医薬品企業グループの一つであり、医薬品、バイオ医薬品、原薬等の研究開発、製造及び販売を幅広く展開しています。

グループの中核企業である四川科倫薬業股份有限公司（Sichuan Kelun Pharmaceutical Co., Ltd. 以下「科倫薬業」）は深圳証券取引所に上場しており、大規模な研究開発・製造基盤を有する中国有数の製薬企業です。

四川科倫薬業グループの時価総額は現在 1500 億元超（約 3 兆 5000 億円）に達しており、グループ傘下には科倫薬業、川寧生物、科倫博泰の 3 社の上場企業を有しています。うち、中核企業である科倫薬業は医薬品の研究開発・製造・販売を主事業とし、世界でもトップクラスの大輸液専門メーカーの一つです。科倫博泰はイノベーション医薬の研究開発に注力し、ADC 開発プラットフォーム

フォームの構築を実現しています。川寧生物はバイオ発酵ならびに合成生物学を事業の軸とし、厳格な医薬品品質基準と研究開発力を強みに、科倫永年の事業展開を強力に支援しています。

上場各社の 2025 年度通期売上高は以下の通りです。中核上場企業の科倫薬業が 185.13 億元（約 3,856 億円）、川寧生物が 46.16 億元（約 961 億円）、科倫博泰が 20.58 億元（約 428 億円）となります。

本協定の当事者である科倫永年は、四川科倫薬業グループのグループ会社であり、同グループが有する研究開発力及び製造基盤を背景として、新たな食品・健康食品原料の研究開発及び事業化に取り組んでいます。

科倫薬業は大手製薬企業として培った専門的な視座と厳格な業界基準をもとに、堅牢な品質管理体制を土台としてヘルスケア事業に進出しています。原料のサプライチェーン全体にわたり品質管理を徹底し、GMP に準拠した標準化工場で生産を実施。人体科学の知見を活かし、疾患予防を事業の重要な価値軸に据えています。原料に対し一貫して高い水準を求めることを通じ、消費者および社会に対する責任を履行し、消費者のニーズに真摯に応える事業運営を実践しています。

3. 思尼特生物科技有限公司について

思尼特は長年、中日間の医薬分野に注力し、中国製薬企業の日本市場進出を支援するとともに、新薬研究開発を推進しております。双方向の連携ルートを構築し、中国企業の日本進出を強力に支えると同時に、日本の優良企業・製品の中国展開をつなぐ堅固な架け橋となっております。申請企業の信頼できるパートナーとして、PMDA に関する薬事申請コンサルティング、臨床試験の実施から上市後の最終販売に至るまで、一貫したサポート体制を提供しています。企業が海外現地チームを新たに構築することなく、日本市場における登録申請、臨床試験実施、そして商業化までをワンストップで実現することが可能です。

思尼特はヘルスケア産業分野への事業展開を加速させ、中日両国におけるヘルスケア領域の連携推進に取り組んでいます。日常的な栄養摂取を通じて健康を守るという理念のもと、科倫永年及び当社との間で業務提携を締結しており、思尼特は科倫永年と全面的に協力し、革新的な健康栄養食品の研究開発および商業化、市場展開の実現に向けて共同で取り組んでいます。

4. 共同研究枠組み協定の内容

本協定は、中国大手製薬企業である四川科倫薬業グループのグループ会社である科倫永年が推進する新規機能性素材について、日本における研究開発から製品化・事業化までを見据えた協力体制を構築するものです。

当社グループは、日本国内における臨床研究及び機能性評価等を担い、思尼特による日中間のコミュニケーション及びコーディネートのもと、四川科倫薬業グループが有する研究開発・製造基盤と当社グループが有する科学的エビデンス構築のノウハウを活かし、新規機能性素材の日本市場における事業化を目指してまいります。

5. 各社の役割

科倫永年大健康産業股份有限公司（四川科倫薬業グループ）

新規機能性素材の研究開発を推進し、その研究開発基盤を活かして日本市場への展開を支援します。

思尼特生物科技有限公司

科倫永年と当社グループをつなぐ連携窓口として、日中間のコミュニケーション及びプロジェクトのコーディネートを担います。

株式会社総医研ホールディングス

当社グループは、日本国内における臨床研究及び機能性評価を通じて科学的エビデンスを構築し、日本市場における製品化・事業化を推進します。

6. 新規機能性素材について

本協定の共同研究の対象となる本素材は、健康食品をはじめとするヘルスケア分野への応用が期待される新規機能性素材です。

現在、今後の研究開発及び事業戦略上の観点から、本素材の具体的名称及び詳細については非公表としております。

今後、本協定に基づき、日本国内における安全性及び機能性に関する科学的エビデンスの構築を進め、新たな機能性素材としての製品化・事業化を目指してまいります。

7. 今後の展開

本協定に基づき、まず日本国内において本素材の臨床研究及び機能性評価を進め、科学的エビデンスの構築を図るとともに、機能性表示食品をはじめとする健康食品・サプリメント等への応用を検討し、日本市場における製品化・事業化を目指してまいります。

その後、日本で構築した科学的エビデンスや商品開発の知見を活用し、中国市場への越境 EC を含む販売展開についても検討してまいります。

中国で研究開発された本素材について、日本国内で臨床研究及び機能性評価を行い、科学的エビデンスを構築した上で、その研究成果や商品開発の知見を中国市場へ還元し、越境 EC 等を通じた事業展開につなげることで、日本でのエビデンス構築を起点とした日中双方向の事業モデルの構築を目指してまいります。

8. 業績への影響

本協定に基づく研究開発及び事業化を推進することにより、当社の業績及び企業価値の向上に中期的に資するものと考えておりますが、当期の業績への影響については現在精査中です。今後、本件の進展に伴い、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上